

2026年3月期
(2025年4月1日～2026年3月31日)

決算参考資料

2026年5月14日



東証プライム・名証プレミア上場 証券コード：9900

2026年3月期 決算ハイライト

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに過去最高業績を記録

※自社保有データ参照



客数増と付加価値向上が業績牽引

目次

1. 2026年3月期決算ハイライト	-2-
2. 連結対象企業の事業内容	-4-
3. 店舗展開の状況	-6-
4. 2026年3月期 業績概況	-8-
5. 財政・キャッシュフローの概況	-9-
6. 実績推移	-10-
7. トピックス	-12-
8. 2027年3月期について	-22-
9. 新中期経営計画公表見送りについて	-23-

連結対象企業の事業内容



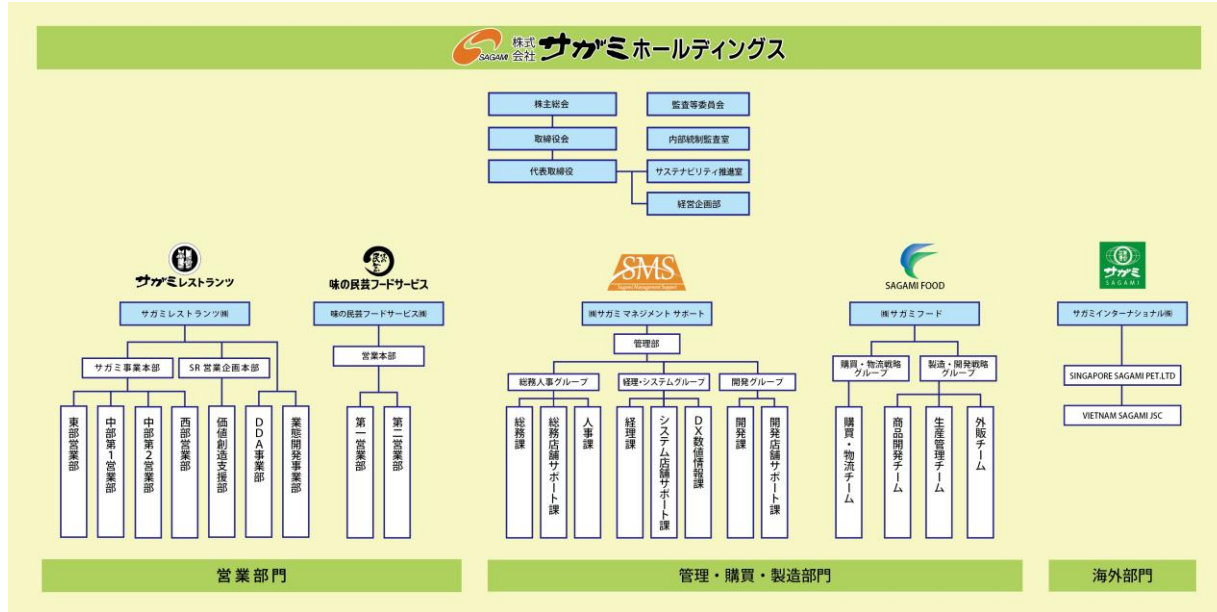
連結対象子会社一覧

名称	所在地	資本金又は 出資金	当社の 出資比率	事業の内容
サガミレストランツ株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
味の民芸フードサービス株式会社	名古屋市	50,000,000円	100%	飲食店の経営 フランチャイズ店舗への 材料提供及び経営指導
株式会社サガミマネジメントサポート	名古屋市	10,000,000円	100%	グループの管理業務 店舗設備のメンテナンス業務
株式会社サガミフード	名古屋市	10,000,000円	100%	食材の仕入・製造業務 輸出入業務
サガミインターナショナル株式会社	名古屋市	10,000,000円	100%	海外事業の統轄
SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.	Singapore	5,750,000米ドル	100%	海外事業（ASEAN）の統轄
VIETNAM SAGAMI JSC	Vietnam	6,490,600,000ドン	100%	飲食店の経営

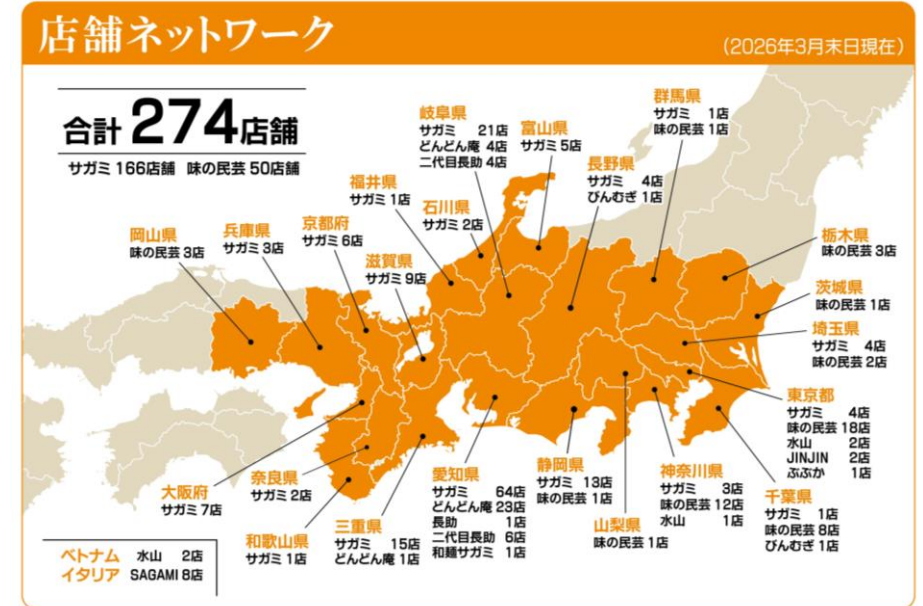
連結対象企業の事業内容



連結対象子会社一覧



店舗ネットワーク



- サガミレストランツ株式会社は、主に和食麺処サガミ業態、どんどん庵業態、長助業態、二代目長助業態を経営しております。
- 味の民芸フードサービス株式会社は、主に味の民芸業態を経営しております。
- 株式会社サガミマネジメントサポートは、主に管理業務を行っております。
- 株式会社サガミフードは、主に食材の仕入・製造を行っております。
- サガミインターナショナル株式会社は、主に海外事業展開の統轄を行っております。
- SINGAPORE SAGAMI PTE.LTD.は、ASEAN地域での事業（ベトナム）の統轄を行っております。

店舗展開の状況



	2025年 3月期	2026年3月期			2027年3月期（目標）		
	店舗数	出店	閉店	店舗数	出店	閉店	店舗数
和食麺処サガミ	152	14	-	166	14	1	179
味の民芸（FC店舗含む）	51	1	2	50	1	-	51
どんどん庵（FC店舗含む）	29	-	1	28	-	1	27
長助・二代目長助	12	2	3	11	1	1	11
その他国内店舗（FC店舗含む）	11	-	2	9	-	1	8
海外（FC店舗含む）	11	1	2	10	-	2	8
合計	266	18	10	274	16	6	284

店舗展開の状況（2026年3月期 新規出店）



出店月	出店都道府県	店舗名
2025年4月	愛知県	和食麺処サガミ 幸田店
	愛知県	十割そば二代目長助 知立店
	愛知県	十割そば二代目長助 日進店
5月	大阪府	和食麺処サガミ 河内長野店
	神奈川県	味の民芸 新綱島駅前店
7月	長野県	和食麺処サガミ 塩尻北インター店
8月	長野県	和食麺処サガミ 長野篠ノ井バイパス店
10月	兵庫県	和食麺処サガミ 宝塚安倉店
	愛知県	和食麺処サガミ 東白壁店
	滋賀県	和食麺処サガミ フレンドマーケット甲南店
11月	Parma	SAGAMI Parma Centro店
	和歌山県	和食麺処サガミ 橋本高野口店
12月	愛知県	和食麺処サガミ 安城東店
	富山県	和食麺処サガミ 射水大島店
2026年2月	愛知県	和食麺処サガミ 稲沢下津店
	愛知県	和食麺処サガミ みよしインター店
3月	三重県	和食麺処サガミ 四日市インター店
	群馬県	和食麺処サガミ 太田高林店

当期末のグループ店舗数は、
国内23都府県264店舗、海外2カ国10店舗の計274店舗を展開

和歌山県にサガミグループ初となる
和食麺処サガミを出店



●和食麺処サガミ 橋本高野口店



群馬県に
和食麺処サガミ初出店

●和食麺処サガミ 太田高林店



2026年3月期 業績概況



連結ベースの経営成績

(単位：百万円)

	2025年3月期	業績予想 (2025.5.13発表)	業績予想 (2025.11.4発表)	2026年3月期	前期差異	計画差異 (2025.5.13発表)	計画差異 (2025.11.4発表)
売上高	35,034	37,000	37,800	39,359	4,325	2,359	1,599
営業利益	2,058	2,250	2,500	2,977	919	727	477
経常利益	2,134	2,300	2,550	3,046	911	746	496
当期純利益	1,356	1,250	1,600	1,618	262	368	18
1株当たり 当期純利益 (円)	44.93	41.42	53.11	53.72	8.79	12.30	0.61

財務・キャッシュフローの概況



■ 連結財政状態

単位 (百万円/%)	2025年3月期	2026年3月期
総資産	25,297	27,123
純資産	17,824	19,659
自己資本比率	70.4	72.4

■ 連結キャッシュフローの状況

単位 (百万円)	2025年3月期	2026年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	2,219	3,720
投資活動によるキャッシュフロー	△2,669	△3,363
財務活動によるキャッシュフロー	△1,231	△1,613

■ 設備投資について

連結設備投資は3,265百万円（2025年3月期実績2,735百万円）となりました。

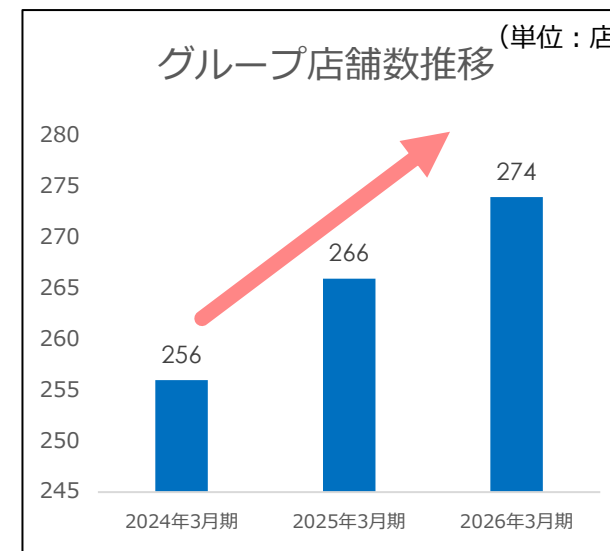
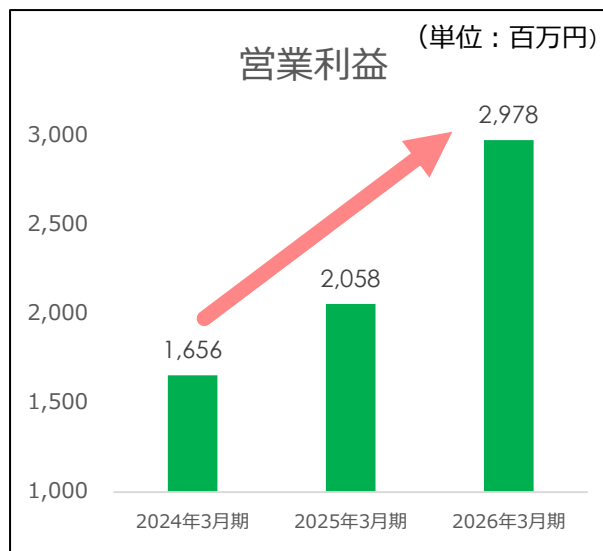
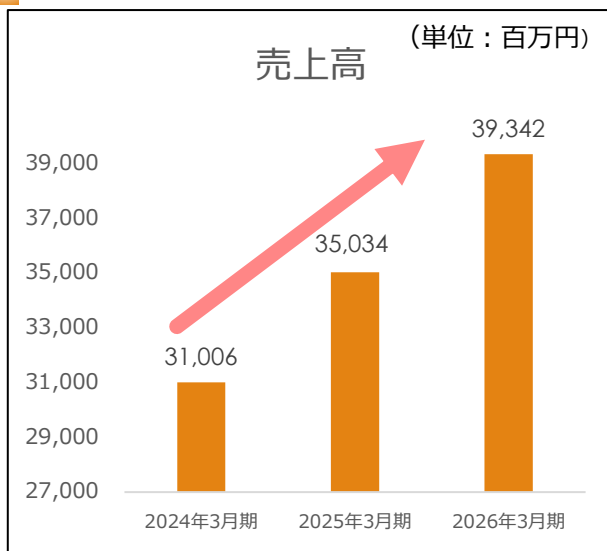
■ 減価償却費について

減価償却費は942百万円（2024年3月期実績739百万円）となりました。

実績推移



売上高・営業利益・店舗数の推移

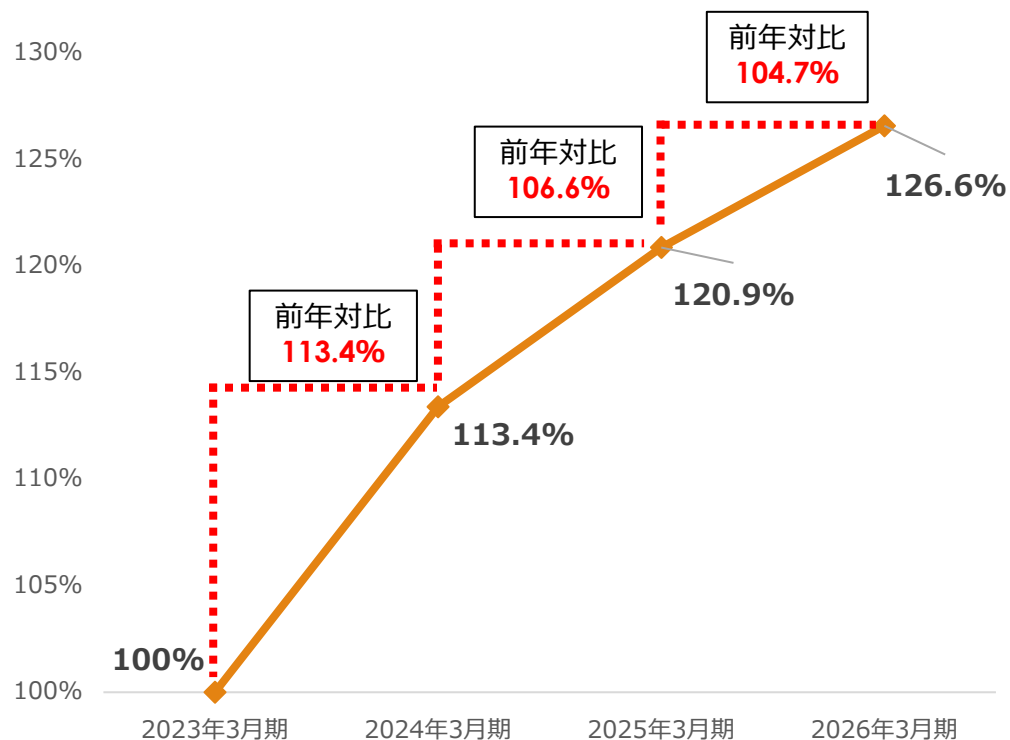


単位：百万円/店	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	前期比(%)	前々期比(%)
売上高	31,006	35,034	39,359	112.3%	126.9%
営業利益	1,656	2,058	2,977	144.7%	179.8%
経常利益	1,722	2,134	3,046	142.7%	176.8%
当期純利益	909	1,356	1,618	119.4%	177.9%
店舗数	256	266	274	103.0%	107.0%

実績推移

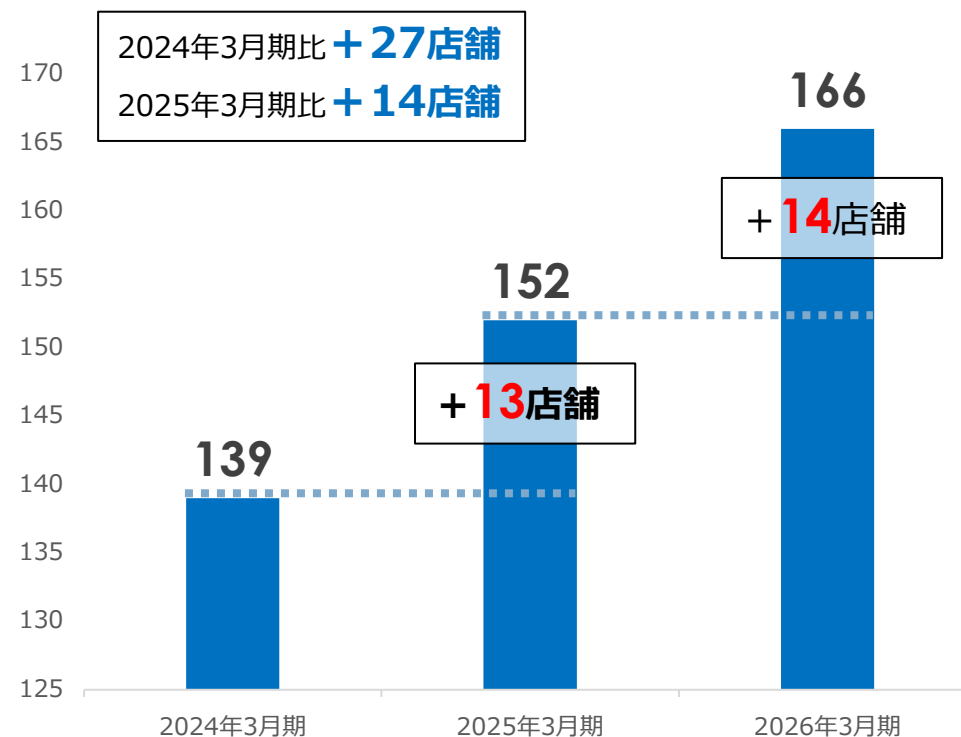
和食麺処サガミ実績推移

■ 客数推移 ※2023年3月期を100%として比較



■ 店舗数推移

単位：店



マーケットの拡大・既存店施策により客数増

トピックス① 和食麺処サガミ・味の民芸 創業50周年



- 当社主力ブランドである、和食麺処サガミ（1975年7月）と味の民芸（1976年1月）が創業50周年を迎えました。ひとえにお客様のご愛顧、そして株主・投資家の皆様をはじめとするステークホルダーの方々の多大なるご支援の賜物であり、感謝申し上げます。今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。創業50周年という大きな節目を迎え、年間を通じて記念施策を展開いたしました。主な施策として、和食麺処サガミでは2025年7月に、プロ野球公式戦ゲーム・スポンサーとしてバンテリンドームにて「和食麺処サガミ創業50周年感謝DAY」を店舗施策と連動し開催いたしました。味の民芸では2026年1月に「創業50周年大感謝祭」を開催いたしました。

トピックス② サガミホールディングス

■地球温暖化予防への取り組み

店舗の客席窓に、遮熱ガラスの採用または遮熱シートの貼付を行いました。これにより、お客様の快適性を維持しつつ空調効率を向上させ、消費電力の削減に繋げております。また、尾西工場へ太陽光パネルを設置いたしました。既に導入済みの本社や一部店舗とともに、再生可能エネルギーの活用を拡大しております。

また、社内で稼働するフォークリフトを従来のガソリンエンジン車から電気フォークリフトへと切り替えております。稼働時のCO2排出量を抑えるとともに、エネルギー効率の向上を図ってまいります。加えて、資源保護および廃棄物削減の観点から、直営全店に手指殺菌装置を導入いたしました。アルコール使用による手荒れを防ぎつつ、手指の衛生レベルを担保すると同時に、ペーパータオルの使用量削減（ゴミの減量）を推進しております。

今後も新技術を積極的に導入し、温室効果ガスのさらなる削減を推進してまいります。

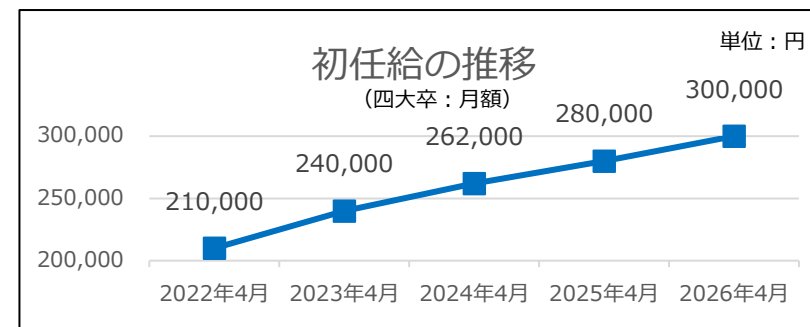
環境保全の取り組みとして植林地域の持続可能な発展を願い、養殖エビの販売数に応じて、マングローブの植樹を行っております。



トピックス③ サガミホールディングス

■ ゆたかさを感じられる職場づくりの推進
 当社グループでは、心身ともに健やかに働ける環境づくりに努め、「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」に認定されました。健康経営の取り組みとして、全店一斉休業日の設定や、初任給の引き上げ・ベースアップ等の給与制度の見直し、年3回の連続休暇取得制度（リフレッシュ休暇）の拡充などに取り組んでまいりました。

■ 株主還元
 持続的な成長と収益基盤の強化を図るとともに、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけております。2026年3月期の期末配当につきましては、当期の業績、及び今後の事業展開等を総合的に勘案した結果、直近の配当予想から1株当たり2円増配し、12円とさせていただきます。なお、本件につきましては、2026年6月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。今後も、内部留保の状況を考慮しつつ、安定的な配当の継続とさらなる利益還元の向上を目指してまいります。



※配当金推移 単位：円

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期
普通配当	5	5	8	10	12
特別配当	-	2	2	-	-

トピックス④ 和食麵処サガミ (サガミレストランズ)

- ご家族の「おめでとう」を、サガミの料理とともに
 お子様のお祝いから、おじいちゃん・おばあちゃんの長寿のお祝いまで。
 サガミでは、人生の節目となる大切な日を彩るメニューを用意しております。
 「お食い初め」をはじめ、ご家族皆様が笑顔になれる和食を囲みながら、
 心に残る素敵な時間をお過ごしください。
- 季節フェアの開催
 「真あなご料理」「本まぐろ料理」「厚切り牛タン料理」「北海道と北の
 めぐみ料理」「広島産大粒牡蠣料理」「寒ぶり料理」「南まぐろと真鯛料理」
 「北海道味めぐり」の計8回、料理フェアを開催いたしました。
 旬の食材を大切に、サガミではその時期にしか味わえない美味しさをお届けする
 「季節の料理フェア」を今後も開催してまいります。
- 企業コラボレーション
 東海地方（愛知県・岐阜県・三重県の一部・静岡県の一部）のファミリーマート
 約2,500店舗にて看板メニューの「みそ煮込」をはじめとする計3商品を
 期間限定で発売いたしました。



トピックス⑤ 和食麺処サガミ (サガミレストランズ)

■ 新規出店

新たなマーケットへの展開

■ 既存店リニューアル

直近3年間で**34店舗**改装実施

2024年3月に長野県**初出店**
2026年3月期に4店舗まで拡大



長野県

●和食麺処サガミ 塩尻北インター店

2024年10月に千葉県**初出店**



千葉県

●和食麺処サガミ 野田横内店

2025年11月に和歌山県**初出店**



和歌山県

●和食麺処サガミ 橋本高野口店

2026年3月に群馬県**初出店**



群馬県

●和食麺処サガミ 太田高林店

地域ニーズに合わせた
レイアウト変更



テーブル席の充実



新規出店による顧客接点の**拡大**と、
既存店の改装・改修による**利便性向上**

トピックス⑥ 味の民芸（味の民芸フードサービス）

■ 季節フェアの開催

「本まぐろ料理フェア」「真穴子料理フェア」「牛タン料理フェア」
「熊本うまかもん料理フェア」「名古屋めし料理フェア」「蒸し牡蠣料理
フェア」「北海道料理フェア」「春だより料理フェア」の計8回、料理フェアを
開催いたしました。引き続き、味の民芸のおいしさを届けてまいります。

■ 味の民芸のメニュー展開

麻辣鍋うどんやちゃんぽんうどんなど自慢の「手延べうどん」を
より美味しくお召し上がりいただけるメニュー展開をいたしました。
また、「旅するサーモン」と銘打って、日本各地のご当地サーモンを
旬に合わせてご提供するなど、味の民芸でしか味わえない商品提供を
心掛けております。

■ 新規出店

神奈川県横浜市に、「味の民芸 新綱島駅前店」を出店いたしました。
味の民芸業態としては、昨期に続く新規出店となります。
今後も関東圏を中心にマーケット拡大を図ってまいります。



トピックス⑦ どんどん庵/長助 (サガミレストランツ)

■ どんどん庵業態について

「自分好みを、手軽に美味しく」をモットーに、うどん・そば・きしめんなど多彩な麺類を取り揃えております。自社製麺ならではのこだわりを尽くした品質は、多くのお客様からご好評をいただいております。また、期間限定メニューとして「料理フェア」を6回実施したことに加え、4月、10月、2月に「どんどん祭」を開催いたしました。



■ 長助業態について

「長助」業態では、十割そばを日常的に楽しんでいただくことを目指しております。「本物のそばのおいしさ」を味わっていただくために、セルフサービス形態を取り入れ、よりリーズナブルな価格設定を実現し商品提供をしております。また、季節感のある商品提案にも注力しており、「十割そば二代目長助」で8回、「かき揚げ十割そば長助」で10回にわたる料理フェアを開催し、多くのお客様にご好評をいただきました。



トピックス⑧ サガミインターナショナル

■ 欧州事業について

2025年11月にイタリア8店舗目となる“SAGAMI Parma Centro店”を新規オープンいたしました。パルマ市旧市街に立地し、地元のお客様から観光客にいたるまで、幅広い層のお客様にご来店いただいております。各店舗においては、日本の四季に合わせたメニュープロモーションを継続的に実施した他、店舗空間を活用して日本語教室や料理教室といったイベントを開催することで、日本文化を発信する拠点としての取り組みを推進いたしました。

尚、欧州へ出店する店舗については、全店、現地パートナー企業による、フランチャイズでの展開となります。

■ ベトナム事業について

手延べうどんのおいしさをベトナム国内へ広めていくために、SNS等を活用したプロモーションを積極的に行い、日本食への関心が高まってきている若年層へのアプローチを行いました。

● SAGAMI Parma Centro店



トピックス⑨ IT・DXの取り組み

■省人化機器の導入

●導入一例

- ・セルフオーダー・セルフレジ・清掃ロボット
- ・順番待ち、自動案内システム・配膳ロボット等



※自動案内システム

■無人決済システム

十割そば二代目長助において、株式会社TOUCH TO GOとの共同検証実施中

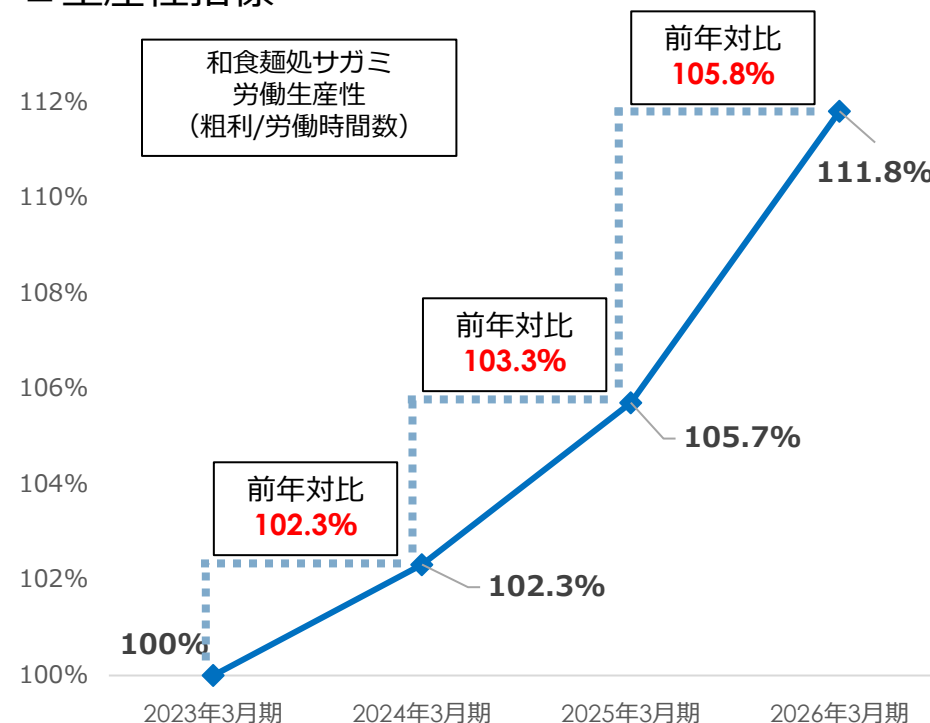


※TTG-SENSE 利用手順



※十割そば二代目長助 日進店

■生産性指標 ※2023年3月期を100%として比較



IT・DX促進により機械へ作業を代替することで、
おもてなし（価値創造）に磨きかけるとともに**生産性向上**を図っております。

トピックス⑩ 地域連携の強化

■ 特産食材メニュー

「飛驒の恵み DE なごやめしフェア」と題し、飛驒市の特産食材を使用した期間限定の特別メニューを、名古屋市内の和食麺処サガミ 19店舗にて販売いたしました。

■ 持続可能な農業支援

「万波（まんなみ）そば」の農作業支援、及び共同栽培を開始いたしました。現在、日本の蕎麦生産地は高齢化や後継者不足という深刻な課題に直面しています。優れた風味を持つ在来種や伝統的な栽培技術が失われることは、日本の食文化にとって大きな損失です。当社が自ら農作業を支援し、生産現場の維持に直接関与することで、これら貴重な文化資源を次世代へと繋いでまいります。

■ 岐阜県スキー連盟

日本屈指の積雪量を誇る岐阜県を舞台に、岐阜県スキー連盟と密接な協同取り組みを推進しております。

本目的は①地域振興 ②地球温暖化予防 ③未来を担う青少年育成であり、地域社会との共生を通じた中長期的な企業価値向上に直結するものと考えております。



2027年3月期について

連結ベースの業績予想

単位（百万円）	2026年3月期	2027年3月期	差額
売上高	39,359	40,500	1,140
営業利益	2,977	2,400	△577
経常利益	3,046	2,450	△596
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,618	1,200	△418

2027年3月期について

■売上高

当社は積極的かつ戦略的な新規出店によるマーケット拡大を推進いたします。
加えて、魅力ある商品施策を通じて新規顧客の獲得と来店頻度の向上を図り、売上高は前期比増収を計画しております。

■営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

緊迫化する世界情勢を背景としたエネルギー価格の高騰に加え、食材の仕入れ価格や人件費、物流費などのコスト増が継続する経営環境を予測しております。当社は、こうした状況下においても過度な客単価の上昇を回避し、お客様が安心してご来店いただける価格環境の維持を考え、生産性の向上や経費削減に注力してまいります。
しかしながら、諸費用の増加を内部努力のみで完全に吸収するには至らず、営業利益、及び経常利益は前期を下回る見通しです。
また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前期に計上した繰延税金資産に伴う法人税等調整額の影響もあり、前期比で減益となる見込みです。

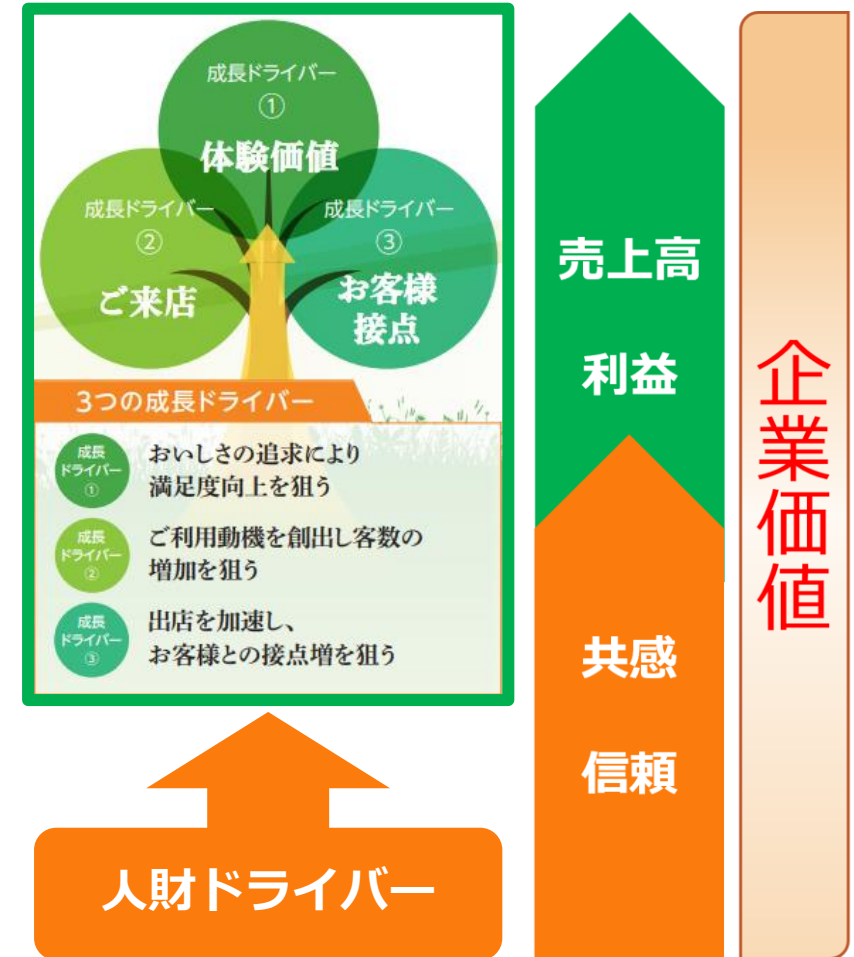
新中期経営計画公表見送りについて

背景

- 当社は、新中期経営計画の策定を進めてまいりましたが、昨今の緊迫する中東情勢を背景とした原油価格動向によって、様々なコスト上昇のみならず、経営環境への広範囲な懸念事項となっております。加えて、消費税税制に伴う消費動向の変化や集客影響が見通せない中、適正かつ合理的な新規中期業績予想の算出が非常に困難なため、新中期経営計画の公表を見送りいたします。

成長ドライバーの促進に向けて

- 当社ビジネスモデルにおける「成長ドライバー」促進に向けて、原動力となる人財の『行動・スピード』の変革要素となる「人財ドライバー」構築への取り組みを強化してまいります。中長期的な企業価値向上へ、いわゆる人的資本経営を経営戦略の骨格として、取り組んでまいります。



ディスクロージャーポリシー（Disclosure Policy）



（1）基本方針

サガミグループは、『私たちは、「食」と「職」の楽しさを創造し、地域社会に貢献します～すべては みんなのゆたかさと笑顔のために～』という経営理念のもと、すべてのステークホルダーに対し、透明性、公平性、継続性を基本に証券取引法及び上場取引所の定める法令・規則を遵守し、タイムリーな情報提供に努めます。

（2）情報開示の方法

東京証券取引所が定める適時開示規則に該当する情報の開示は、同取引所へ事前説明後、同取引所の提供する適時開示情報伝達システム（TDnet：Timely Disclosure network）に登録し提供しています。

TDnet 公開後、すみやかに報道機関に同一情報を提供するとともに、当社ホームページへも掲載いたします。

ただしシステムの都合上、これら情報の当社ホームページへの掲載が遅れる場合がございます。

また、適時開示規則に該当しないその他の情報につきましても、適時開示の趣旨を踏まえて適切な方法により正確かつ公平に開示する方針です。

（3）業績予想および将来の見通しについて

サガミグループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の実事に関する以外は、将来の業績に関する計画や見通しであり、これらは現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。

したがって、将来の業績等につきましては、様々なリスクや不確定要素の変動および経済情勢の変化などにより異なる場合があります。

（4）沈黙期間について

サガミグループは決算情報の漏洩を防ぎ、公平性を確保するため、四半期ごとの決算期末日の翌日から当該決算発表までの期間を「沈黙期間」としております。

この期間は、決算に関する質問への回答やコメントを控えることとしております。ただし、この沈黙期間中に業績予想を大きく変動する見込みが発生した場合には、開示規則に従い適宜公表いたします。

なお、沈黙期間であっても、すでに公表されている情報に関する範囲のご質問等につきましては対応いたします。

（5）ディスクロージャーポリシーの遵守

サガミグループは、「企業の社会的責任（CSR）」の観点からもグループの役職員全員に上記のディスクロージャーポリシーを周知徹底し遵守いたします。